

# 指定相談支援が効果を果たし、継続するには

適切なモニタリング頻度の設定が①障がい当事者の状況把握と②事業所・学校・保育園等との密な関係づくりにもつながり、また③相談支援事業の経営の確立にもつながります



その結果、障がいのある当事者が途切れのない日々の生活と将来に向けた目標設定ができます。また、現在の支援も適切なサービス適切な量の支援を提供することができます。

モニタリング頻度の見直しによる現状のモニタリング頻度

	毎月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	1年	合計
半田センター9月	70	48	110	122	17	96	12	475
半田現状	37%	14%	21%	17%	2%	9%	1%	100%
鈴木案	10%	15%	40%			30%	5%	100%

<<鈴木バージョンパーセンテージの場合>>

計画作成数

	1ヶ月の計画作成数	毎月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	1年	ケース数
50人ケース	4.2	5	7.5	20	0	0	15	2.5	50.0
60人ケース	5.0	6	9	24	0	0	18	3	60.0
70人ケース	5.8	7	10.5	28	0	0	21	3.5	70.0

モニタリング数

	1ヶ月のモニタリング数	毎月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	1年	年間モニタ数
50人ケース	17.7	55	45	80	0	0	30	2.5	212.5
60人ケース	21.3	66	54	96	0	0	36	3	255
70人ケース	24.8	77	63	112	0	0	42	3.5	297.5

1人相談支援の想定

必要経費

相談員人件費(1名社士)	3549231
法定福利費	539448
福利厚生費	21600
研修費	20000
交通費	10000
消耗品費	50000
印刷製本費	40000
通信運搬費(電話1台追加)	240000
賃借料(車リース1台)	270000
燃料費(1台分)	170000
総額	4910278

70人担当

計画作成	70人 × 16000円 = 1,120,000	1120000
モニタリング	297 × 13000円 = 3861000	3861000
		4981000

60人担当

計画作成	60人 × 16000円 = 960,000	960000
モニタリング	255 × 13000円 = 3,315,000	3315000
		4275000

### 3人相談支援(特定事業所)の想定

#### <<正規8年目+臨職2名)

正規	相談員人件費(1名社士)	3998858
	法定福利費	607786
	福利厚生費	21600
臨職(社士)	相談員人件費(1名社士)	3549231
	法定福利費	539448
	福利厚生費	21600
臨職(社士)	相談員人件費(1名社士)	3549231
	法定福利費	539448
	福利厚生費	21600
	事務員人件費(2名×0.5)	1756800
	緊急電話手当(3000円×365日)	1095000
	研修費	60000
	会議旅費交通費 (市外入所施設聞き取り等)	50000
	消耗品費	50000
	印刷製本費	100000
	通信運搬費(電話1台追加)	240000
	賃貸料(パソコンリース・ソフト)	398000
	賃借料(車リース3台追加)	800000
	燃料費(3台分)	500000
		<b>17898601</b>

70人担当

計画作成	70人×19000円=1,330,000	1330000
モニタリング	297×16000円=4752000	4752000
		<b>6082000</b>

60人担当

計画作成	60人×19000円=1140,000	1140000
モニタリング	255×16000円=4080,000	4080000
		<b>5220000</b>

1人70人担当 計画相談利用者数210人(うち1割地域定着 21人)

計画相談	6082000円×3人	18246000
地域定着	21人×3000円×12ヶ月	756000
		<b>19002000</b>

1人60人担当

計画相談	5220000円×3人	15660000
地域定着	21人×3000円×12ヶ月	756000
		<b>16416000</b>

#### <<正規15年目+臨職2名)

正規	相談員人件費(1名社士)	4837948
	法定福利費	735320
	福利厚生費	21600
臨職(社士)	相談員人件費(1名社士)	3549231
	法定福利費	539448
	福利厚生費	21600
臨職(社士)	相談員人件費(1名社士)	3549231
	法定福利費	539448
	福利厚生費	21600
	事務員人件費(2名×0.5)	1756800
	緊急電話手当(3000円×365日)	1095000
	研修費	60000
	会議旅費交通費 (市外入所施設聞き取り等)	50000
	消耗品費	50000
	印刷製本費	100000
	通信運搬費(電話1台追加)	240000
	賃貸料(パソコンリース・ソフト)	398000
	賃借料(車リース3台追加)	800000
	燃料費(3台分)	500000
		<b>18865225</b>

## <<モニタリング頻度の決定における理由>>

### 毎月

- \* 退院したばかりでサービス調整と本人の状態の変化を見守る必要がある。
- \* 事業所で落ち着いておらず、頻繁な調整が必要である。
- \* 介護保険への移行調整中。
- \* 虐待あり（要家族支援ケース）である。
- \* 重症心身障害者であり、5事業所以上を利用しており、サービスの調整を毎月必要とする。
- \* 障がいのある方が複数いる家庭で家族支援を必要とする。
- \* 自殺未遂歴あり。状態の確認および家族支援を必要とする。

### 2ヶ月

- \* 母が出産を控えており、家庭環境やサービス状況の変化が見込まれる。
- \* 生活困窮者であり、生活が不安定で家族支援を必要とする。
- \* 家族はいるものの判断能力に課題があり、家族支援も必要とする。
- \* 以前にDVがあり、落ち着いているものの見守り確認を必要とする。
- \* 通所が不安定で家族ともに思いが変わりやすい。

### 3ヶ月

- \* 一般就労を希望しており、就労前の生活状況や能力の把握など就労に向けた状態のモニタリングなどを必要とする。
- \* GHに入居しているが、地域移行の希望があり調整を必要とする。
- \* 幼児であり、成長の変化が著しい。
- \* 家族の波があり、不安感が強く定期的な状態確認を必要とする。
- \* 家族も判断能力が低く、定期的な確認・見守りを必要とする。
- \* 障がいのある方が複数いる家庭で落ち着いてはいるものの、定期的な確認を必要とする。
- \* 虐待までには至っていないものの虐待のリスクがある。

### 4ヶ月

- \* 学齢期であり、長期休暇、学期の変わり、年度変わりなどにより状況の聞き取りやその後の調整を必要とする。

# 指定相談支援がモニタリングしやすく するために！（半田での工夫）

\* 指定相談が学校や保育園や事業所に入りやすい環境整備をする！



- ① 保育園の園長会での説明！
- ② 夏休みの学校訪問！
- ③ 学校の先生や保育園の先生の放課後デイバスツアー
- ④ 事業所連絡会の実施



こんなに情報が届いていなかったんだ～。声が上げられないのか～。



# 届いていないところへ訪問事業

平成24年  
療育ABC精神1級  
サービス未利用者を  
訪問

平成25年  
精神2級  
サービス未利用者を  
訪問

情報が届いていない、自分では「困った」「これがしたい」と声が上げられない方を全戸訪問。



知的障害33歳女性  
中学卒業後、9年ほど一般就労をするが、人間関係で退職。その後12年間引きこもっていた。その間に精神症状も出てきて、通院。誰かに相談しているのか？親が年をとっていき中、不安で仕方なかった。訪問開始後1年

精神障害22歳女性  
中学卒業後、専門学校に行くが通えず、7年間入退院を2度ほどしながら、引きこもっていた。母もうつになり、限界を迎えたことも。姉の出産もあって、今後どうしたらいいかと悩んでいた。話を聞いてくれるだけでもいい。

精神障害54歳女性  
息子が中学のころに発症。なんとか自宅で支えていたが、症状が悪化し、入院。退院後は母と暮らしていたが、その母が他界。どうしたらいいかわからなかったんですと息子。病院にも通えておらず。僕一人では。。

通所を見学し、外に出ようか

まずは定期訪問から。。

病院へのつなぎから。<sup>37</sup>

# 相談支援体制図

## 委託相談

地域づくり(エンパワメント・民生委員等地域との連携)  
専門機関の紹介・社会資源の活用支援

訪問事業  
声の上がない人へ  
ピアサポート事業

就労支援  
茶話会  
ピアサロン

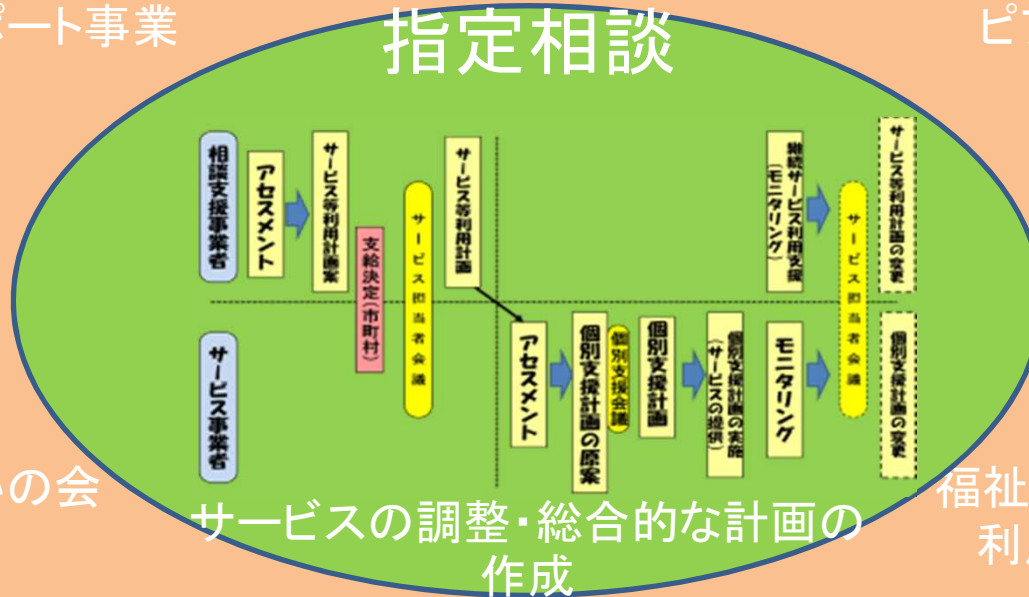
## 指定相談

SST道場

さくらの木

働くみらいの会

福祉サービスの  
利用援助



## 基幹相談

人材育成(研修実施)・ルール仕組みなどの基盤整備・連携強化の取り組み  
OJT・総合相談・専門相談・体制整備(地域移行・虐待防止)

# 市や基幹相談の役割は？

- 気づきを地域課題へ変換
- 具体的な数字などへの現状分析
- 必要な仲間を集めての議論の場づくり



基盤整備（土台作り）が役割です。  
その土台での人材育成がなされ、  
地域の人材が適所適材で活躍してこそ、  
本当に必要な社会資源改善・開発ができるように  
思います。